

三田市立ゆいのき台中学校

令和2年度「修学旅行」総集編

1. 目的

- 修学旅行を通し、学級学年の連帯感を高めると共に思い出深い行事にする。
- 六古窯の一つ「信楽」で陶芸体験を行い、伝統的な焼きものの世界に触れる。
- 体験学習や班別行動を通し、自然や文化に触れる中で、人との交流を深め視野を広げる。

2. 期 日 令和2年9月28日（月）～9月30日（水）2泊3日

3. 場 所 滋賀県信楽 三重県鳥羽市 桑名市 伊勢市

4. 宿 舎 鳥羽市にて連泊

5. 交通機関 学校～滋賀、鳥羽等 全行程（大型バス9台）

6 感染症対策について

- 団体行動中は、可能な限り人と人の距離を取り、会話を控えるようにします。また、会話をする際は必ずマスクを着用します。
- バス乗車時の消毒、食事・施設等での手洗いや消毒についてこまめに実施します。
- 食事、入浴、就寝、外での活動で人と人との距離が確保できている以外はマスクの着用を励行しますが、室内でも気候状況等により熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、換気や人と人との距離を確保した上で、マスクを外して休憩できるようにします。
- バスや施設等の定期的な消毒と換気を徹底します。
- 養護教諭が同行します。

「しおい」から

(表紙・裏表紙)



(実行委員会)

☆全体目標

一日千笑

~Good memories forever~

- 言葉遣いに気を付けて、挨拶とお礼をしっかりとしよう
- 協調性とメリハリを持って行動しよう
- 5分前行動を意識しよう
- マナーとルールを守って全力で楽しもう

(校長挨拶)

一日千笑 ～Good memories forever～

令和2年度「修学旅行」、例年であれば春に実施されるこの行事を、私たちは「一日千秋」の思いで待ちました。「新型コロナウイルス」感染症対策のための臨時休校により9月23日～25日に延期となった「沖縄」への修学旅行は、県独自の緊急事態宣言が発表された「沖縄」から「滋賀・三重」方面に行き先を変更、28日～30日の旅程となりました。皆さんが「一日千秋」の思いで待ちわびた修学旅行のスローガンは、「一日千笑」です。このスローガンは、各クラスから出された意見をもとに、実行委員会によって創り出された、世界に一つだけの言葉です。

滋賀・三重への修学旅行は、「修学旅行を通し、学級や学年の連帯感を高めると共に思い出深い行事にする。」「六古窯の一つ『信楽』で陶芸絵付け体験を行い、伝統的な焼き物の世界に触れる。」「体験学習や班別行動を通し、自然や文化に触れる中で、人との交流を深め視野を広げる。」を目的としています。初日は陶芸体験と鳥羽水族館見学、2日目は長島スパランドで、最終日は伊勢での班別行動を中心とするプログラムになっています。ゆったりとしたプログラムになっています。「距離」「マスク」「声」の関係を個人として、集団として、しっかり考えながら、有意義な時間をクラスや学年の仲間と、共にしてほしいと思います。

「Good memories forever」―「同級生」とともに素晴らしい「思い出」を創りましょう。

三田市立ゆりのき台中学校 校長 大野 正人

プログラム

9月28日(月)

学校を観光バス9台で出発、滋賀県甲賀市信楽に到着しました。ここでは、昼食と絵付けに分かれて行動しました。絵付けは、素焼きの素材に絵の具で絵や文字を描きました。6色の絵の具を使いオリジナルの信楽焼のカップを仕上げました。焼き上がりが楽しみです。

そして、バスは三重県へ、「鳥羽水族館」を見学しました。地球に住む全ての生きものの故郷である海。鳥羽水族館は、その海の広さ、豊かさ、不思議さを存分に知ることができる施設でした。12のゾーンをめぐるとともにアシカショーも観覧しました。お土産も沢山買いました。修学旅行の宿は三重県鳥羽市のホテル。部屋はオーシャンビュー、眺望も夕食も最高でした。

9月29日（火）

朝から桑名市の「ナガシマスパランド」へ。子どもからおとなまで楽しめる国内最大の遊園地です。絶叫マシンを満喫したのはもちろん、絶叫マシンはちょっと苦手という人も、大観覧車やお化け屋敷、ファミリー向けアトラクションなどで楽しい時を過ごしました。お昼は、フードコーナーで友とそれぞれのランチタイムを過ごしました。この日も宿泊は、三重県鳥羽市のホテル。今夜も夕食は豪華メニューでした。

9月30日（水）

修学旅行の最終日です。今日は伊勢市「おかげ横丁」の班別行動です。班によっては、伊勢神宮内宮を見学する班もありました。名物や美味しいものの探索、伊勢路の名産品の買い物ゆっくり楽しみました。最後の昼食は松坂牛のすき焼きでした。解散式も心に残る温かいものになりました。

生徒スローガン「一日千笑」～Good memories forever～にふさわしく、笑顔に満ちあふれた思い出深い修学旅行でした。この旅行でお世話になったすべての皆様に心からお礼申し上げます。

修学旅行を終えて(生徒感想)

〇あっというまに過ぎてしまった修学旅行、たくさん思い出が作れました。信楽焼は限られた短い時間の中、私はたぬきの絵をかきました。いつか、おかげ横丁で買ったお茶を飲んでみたい！ホテルのご飯は、すごく量が多くておいしくいただきました。ナガシマとかおかげ横丁とかは、計画通りにはいかなかったけど、たくさん乗り物に乗れたし、お土産も買って、楽しかったです。ホテルでの生活は、班員はみんな、時間を守るし、なんなら会議から帰ってきたら、もうすでにふとんが敷かれていて、行動力が素晴らしいと思いました。班員のおかげで楽しかったし、快適に夜もねむることができました。一日千回ぐらい笑えました。みんなのゆすり合いとか、尊重とかがたくさんみられて、とても楽しい修学旅行でした。みんな、ありがとう。

〇今は、コロナが大変で修学旅行に行けるかどうかも怪しかったけれど、中学生活で一番楽しみにしていた修学旅行に行けたので本当に嬉しかったです。出発式の時に実行委員さんが言っていた、80%の満足、20%の我慢はあったけれど、80%の中では100%全力で楽しめたと思います。また、今回、今まで怖くて乗れなかった急流すべりに乗ることができ

たので、新しい挑戦ができたかなと思います。他にも小6の時より、自由にできることがとても多くなっていて、自分たちの修学旅行という感じがして、少しおとなになれたような気がします。これから受験とかいろいろあるけれど、修学旅行を楽しんだ分全力で頑張ろうと思います。

○この修学旅行で、あまり話したことがなかった人とたくさん話せたので良かったです。特に、ホテルの部屋が同じだった人とはたくさん話せました。そして、クラスが離れなかなか会えなかった友だちと会って少しだけ話すことができて、とてもうれしかったです。ナガシマスパーランドは本当に楽しみにしていました。9月下旬になると涼しくて、めいっぱい遊んでも汗だくにならず、快適でした。観覧車が高くてけっこう怖かったです。おかげ横丁は、まねき猫がたくさんいるとわかりました。3日間でたくさん買い物をして、おみやげをたくさん持って帰れて良かったです。

○この3日間を通して、私たちはより絆を深めることができました。ホテルの部屋やナガシマスパーランドの班、生活班は前もって決まっていたのですが、鳥羽水族館や大浴場に行く時などに、クラスの友だちとたくさん交流できたと思います。また、部屋の自由時間ではお菓子を食べたり、ゲームをしたりするのがおもしろかったです。本来、私たちは6月に沖縄に行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で滋賀・三重に行ってきました。いざ行ってみると行く場所より、一緒に行く人が大切だと気づきました。中学校の思い出を作ることができて本当に良かったです！楽しめました！

○コロナの中で、修学旅行に行けないところがある中で、ゆり中はこうやって、全員でいことができてよかったです。僕は、修学旅行で学んだことがたくさんあります。一つ目は、けじめの大切さです。200人も人がいる中、一人一人がけじめをつけなければ、こうやって楽しめなかったと思います。二つ目は、友だちの大切さです。友だちがいたことで、水族館でもナガシマでも部屋でも、楽しむことができたと思います。だからこれからも友だちを大切にしていこうと思います。これらのことから、修学旅行で学んだことをこれからの生活の中でも大切にしていきたいと思います。残りちょっと、楽しみたいです。文化祭、頑張ります。

○信楽の絵付けでは、描きたいものは描けたが、時間が足りず、仕上げができなくて残念でした。鳥羽水族館は、ゆっくり見すぎて、海獣さんたちをあまりちゃんと見られなかったです。でも、お魚さんたちをたっぷり見られて良かったです。そして、ドクターフィッシュが大量に寄ってきて、複雑な気分になりました。ナガシマスパーランドで、あまりたくさんは乗れなかったけれど、内容が濃くて満足しました。そして、ジェットコースターより高いと

ころのほうが苦手だと分かりました。全体を通して、時間は有限だということ、団体で行動するからこそ見えなくなる周りへの迷惑、一人の行動が作り出す迷惑、それを学びました。そういうことを考えて行動できる人になりたいと思いました。

○楽しい思い出をたくさん作れてとても良かったです。みんなの過ごし方が良かったので、全体で怒られることはほとんどなく、本当にいい思い出しかありません。時間もみんなしっかり守って行動できていたし、ごはんを食べる前の号令、部屋の使い方など、あたりまえのことを守っていたのが、1年生の時の転地学習よりとても大きく成長できていたと感じるところでした。寝る時、食べる時、お風呂に入る時以外はマスクを付けるということも、ずっと守っていたし、部屋間の移動もがまんできていて、コロナ対策もばっちりでした。そういうひとりひとりの意識があったからこそ、こんなに楽しい修学旅行になったのだと思います。水族館ではとてもかわいらしいたくさんの魚や動物を見ることができたり、陶芸体験は少し変になっちゃったけど、頑張って絵をかきました。修学旅行中に食べたごはんはすべてとてもおいしかったです。このような状況の中で修学旅行に行けたことは、先生方やホテル、その他の施設の方々のおかげでした。感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

○普段行けないところに行けたり、話さないことを話したり、新鮮ですごく楽しかったです。この修学旅行で、私は「挨拶・お礼をしっかりとすること」を意識しました。ホテルのスタッフさん、バスの運転手さん、添乗員さんはもちろん、訪れた先での店員さん、スタッフさんにも、きちんと感謝を伝えられました。また、同じホテルに泊まっている方にも挨拶をしっかりとできました。この3日間で、修学旅行に行けることのありがたみをすごく感じました。沢山の方々の協力のおかげで楽しい3日間になったと思います。周りの方々への感謝の気持ちを持って、これから過ごしていこうと思いました。

○まずは、いろんな方々に感謝をしたいです。このコロナ禍のなか、沖縄ではなかったけれど、本当に楽しい思い出をつくることができました。先生方、実行委員のみんな、ホテルの方々、バスの運転手さん、各施設の方々、全員が、私たちが安心して楽しめるようにコロナ対策をさせていただいて、無事終えることができたので本当に良かったです。次は、クラスの子とたくさん話せたことです。私は人みしりの性格もあって話せないことも多かったけれど、話したことの無い子や、他クラスの子とも話せて良かったです。

○3日間とても楽しかったです。信楽焼の体験では、絵の才能がない自分の中では頑張り、まあまあの仕上がりです。鳥羽水族館では、アシカショーを楽しみ、完璧の演技に感動しました。時間が足りず全て見て回ることはできなかったのも、また来たいと思います。ナガシマスパーランドでは、一番乗りたかった白鯨とスチールドラゴンに乗れ、班のメンバーでめ

いっぱい遊べて良かったです。自分の中で一番恐かったのはお化け屋敷でした。おかげ横丁は、だんごやソフトクリームを食べ、とても美味しかったし、もっともっと長くいたかった店もあったので、もう一度行きたいです。ホテルでは、食事、風呂、自由時間の全てが楽しかったです。

○3日間、クラスや同級生のみんなと学校以外の場所で過ごしたことは、僕たちにとってとても大きな思い出になったと思います。絵付けに水族館、NSLに神宮、横丁など、いろいろな所を巡りましたが、結局一番楽しかったのは、寝る前だったり、バスの中だったり、くだらない話をしている時だったと思います。だから、あと5か月もないこのクラスだけ、その中でも変わらない特別な「いつも」を積み重ねていけたらいいな…と、心の底から思いました。将来、今を思い出す時、「宝物」だったと思えるように…。

○3日間、班、部屋そしてクラスのみならずと過ごせて良かったです。それぞれの場所で良い思い出がたくさんくれました。班員や部屋のメンバーのいろいろな話がいっぱい聞けました。知らなかったこともたくさん知れたし、好きなタイプとかも聞けたので楽しかったです。水族館で担任の先生がラッコの真似をしたり、「かわいいから好き」って言ったりしてたのが、おもしろかったです。鳥羽水族館、ナガシマスパーランドともに、友だちと一緒に行動して、たくさん話せたし、もっと仲良くなれたと思います！集合時間や出発時間にも遅れず行動できました。3日間という、ほんとうに短い間だったけど、みんなと楽しく過ごすことができ、充実した修学旅行になりました。

○もともと予定していた沖縄には行けませんでした。修学旅行自体行けることに感謝をしたいと思います。今までとは違い、自由行動が多かったので、自分たちで時間を管理するなどその分責任を伴いました。また、お小遣いも1万円という大金だったので、たくさんものを買えるけれど、本当にそれは必要なのか、などを考えることが必要となりました。大変なこともたくさんあったけれど、それ以上に楽しさや経験、思い出があって、本当に充実した3日間となりました。また、クラスの子の意中の相手などの話をたくさん聞いて、そっちな面でも楽しむことができました。ご飯もおいしかったし、もう一回、みんなで行きたいです！

思い出フォトグラフ

(初日)











(2日目)











(最終日)









おわりに

私は、学校の先生となり、今までに 20 回の「修学旅行」を経験しています。中学校では、3年生と「北九州」や「東京」そして「沖縄」の地を、小学校では6年生と「広島」の地を訪れました。それぞれの年に、さまざまな場所で、子どもたちとともに、いろいろなことを体験してきました。

しかしながら、こんなにたくさんの修学旅行を経験している私にとっても、令和2年度の修学旅行は特別なものでした。例年であれば5月から6月ごろに当たり前のように実施されるこの行事は、「新型コロナウイルス」感染症に翻弄されました。臨時休校期間の後、修学旅行は9月23日～25日に行うことが決定されました。目的地はもちろん予定どおり「沖縄」です。ところが、予期せぬ「新型コロナウイルス」の各地での流行、沖縄県では県独自の緊急事態宣言が発表され、「沖縄」への修学旅行を断念することとなりました。どこへ行けばいいのか、2泊3日は適当か、そもそも修学旅行をしていいのか、私たち学校は苦悩し

ました。そして、三田市教育委員会と協議を重ね、時期を変えず2泊3日で「安全」「安心」に修学旅行を行うという結論を出しました。本校が、「安全」「安心」な旅行先として選んだのは「滋賀・三重」方面です。楽しみにしていた「沖縄」ではないが、それでも3年生の心にいつまでも良き「思い出」として残る修学旅行にしたい、その一心で旅行社の方とともに、プログラムを練りあげました。保護者説明会でいただいたご意見をもとに最終調整もを行い、9月28日（月）修学旅行出発の日をやっと迎えることができました。

子どもたちが「一日千秋」の思いで待ちわびた修学旅行。スローガンは「一日千笑」です。このスローガンは、各クラスから出された意見をもとに、実行委員会が創り出した、世界にたった一つの言葉です。子どもたちは、スローガン「一日千笑」を心に、「距離」「マスク」「声」の関係を個人として、集団として、しっかり考えながら、クラスや学年の仲間と、有意義な3日間を共にしました。「Good memories forever」―「同級生」とともに素晴らしい「思い出」を創り上げてくれました。「一日千笑」にふさわしい、「笑顔」に満ちあふれた3日間でした。

「ローマは一日にして成らず」。「一日千笑」の旅は、3日間の旅行期間だけで成就したものではありません。実行委員会の献身的な活動はもとより、中学校入学以来「凡事徹底」を学年目標に掲げ、みんなで少しずつ積み上げてきた、3年間の努力の賜物です。「笑顔」の旅を創造したもの、それは3年生みんなの「互いに尊重し合う」心です。私は、3年生が大好きです。そして、「尊敬」しています。

保護者の皆様には、「コロナ禍」のなかでの修学旅行に、ご理解とご支援をいただき、職員一同、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

最後に、修学旅行でお世話になったすべての皆様に、心よりお礼申し上げます。

三田市立ゆりのき台中学校 校長 大野 正人